

研究の実施に関する情報公開

令和6年9月18日

倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

毛巣洞の外科的治療に関する多機関共同後ろ向き研究
1. 研究の対象 2014年4月1日～2023年3月31日までに毛巣洞と診断された方
2. 研究目的・方法・期間 毛巣洞とは、体毛の濃い成人男性の尾仙骨正中部に好発し、皮下に毛髪を含む瘻孔とってトンネルを形成します。成因として歩行や座位による圧迫やその解除により、臀裂に剪断応力が生じ、臀裂に向かって流れるような毛がすり合わさって束になり、臀裂部に刺入することでトンネルを形成するといわれます。肥満傾向のある青年期に好発して、炎症を繰り返すと座位になることも難しくなり、車の運転や勉学に支障が出るなど、生活の質を著しく低下させます。毛巣洞の手術では1) 洞の完全切除、2) 仙骨部位が荷重部となる部位の欠損創を適切に皮弁などで充填し創離解を防ぐこと、3) 毛流を変えることで再発を防ぐこと、4) 剃毛をおこない毛の物理的な侵入を防ぐこと、などが重要とされていますが、毛巣洞の外科治療では標準的な術式が存在せず、現時点では施設ごとの経験にゆだねられているのが実情です。そこで全国の皮膚外科領域をサブスペシャリティとする施設で、多施設共同後ろ向き調査を行い、毛巣洞に推奨される外科的治療に関する有益な情報を得ることを本研究の目的とします。 研究期間：倫理審査委員会承認日から、2026年3月31日までの予定。
3. 研究に用いる試料・情報の種類、情報の利用および提供を開始する予定日 診療情報：診療記録（年齢、性別、身長、体重、術後感染の有無、縫合不全の有無など） 利用開始日：2024年11月30日 提供開始日：2024年12月15日
4. 外部への試料・情報の提供（複数施設研究の場合記入） 研究にご協力頂いた個人が特定されるような情報は厳重に保護され、個人を識別できる情報を削除して適切に取り扱い、研究代表機関である鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科へ送付されます。ただし、得られた研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会や学術雑誌及びデータベース上で発表されることがあります。対応表は、管理課長が保管、管理します。
5. 研究組織（複数施設研究の場合記入） 研究代表者 鹿児島市城山町8番1号 鹿児島医療センター TEL 099-223-1151 FAX 099-226-9246 研究責任者/研究代表者：皮膚腫瘍科・皮膚科 医師 松下茂人 共同研究機関 ※別紙参照
6. 利益相反 ありません
7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

茨城県つくば市天久保 2-1-1 筑波大学附属病院

TEL 029-858-2173

当院の研究責任者：皮膚腫瘍科・皮膚科 医師 乃村俊史

